


## ●最近の県内経済

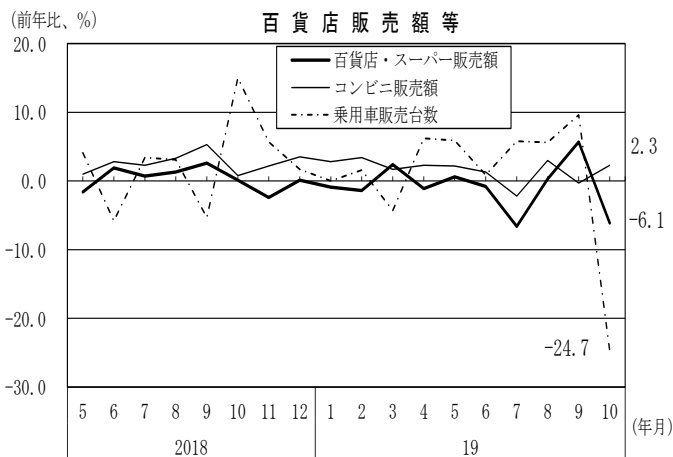
**基調判断**  
(2019年10月を中心として)



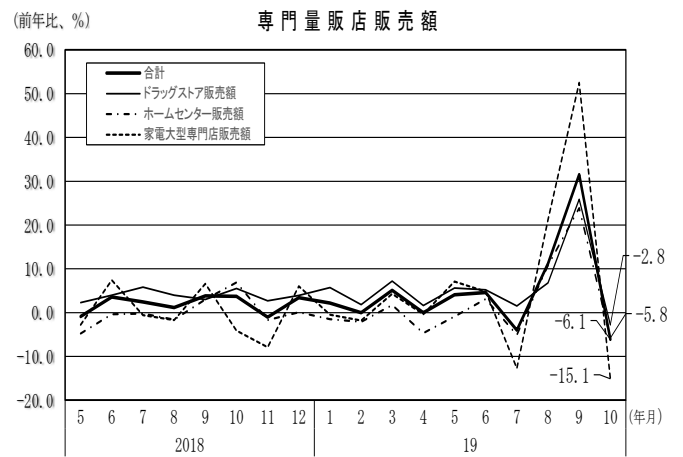
**今月の概要**

県内景気は、減速している。

### 1 個人消費 足元減少



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

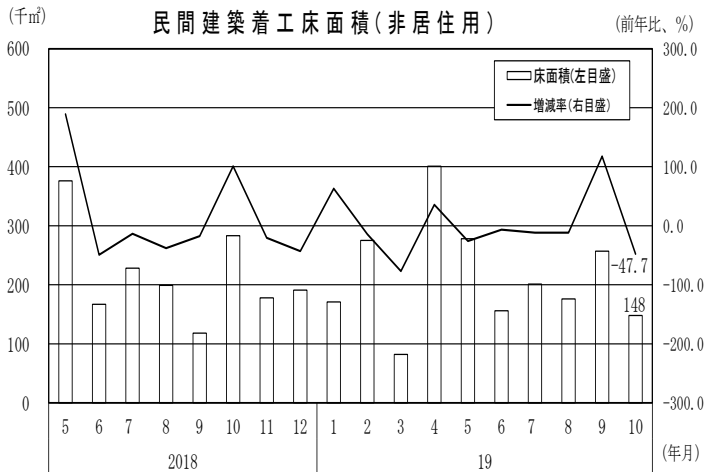


(資料)経済産業省

10月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、769億円で前年比6.1%減と3か月ぶりの減少となった。消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減に台風災害の影響も加わり、百貨店が同20.0%減と大幅に落ち込んだほか、スーパーも同2.9%減と3か月ぶりに減少した。一方、コンビニ販売は同2.3%増となった。乗用車販売は、同24.7%減と7か月ぶりの減少となった。内訳をみると、普通車(同24.7%減)、小型車(同34.7%減)、軽乗用車(同15.1%減)ともに減少した。

10月の専門量販店販売額は、577億円で前年比6.1%減と3か月ぶりの減少となった。内訳をみると、家電大型専門店が107億円で同15.1%減となったほか、ドラッグストアが312億円で同2.8%減、ホームセンターも158億円で同5.8%減といずれも減少した。

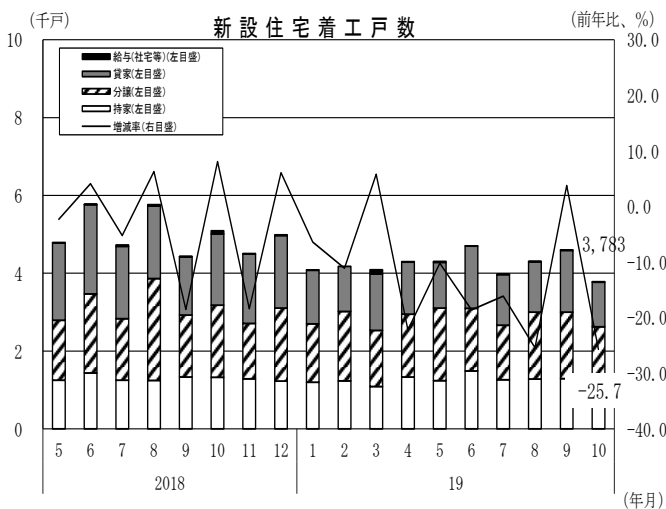
## 2 設備投資 弱含み



(資料)国土交通省

10月の民間建築着工床面積(非居住用)は、148千㎡で前年比47.7%減となった(年度初来累計では同3.0%減少)。用途別にみると、工場及び作業場は増加したものの、事務所、店舗、倉庫が減少した。

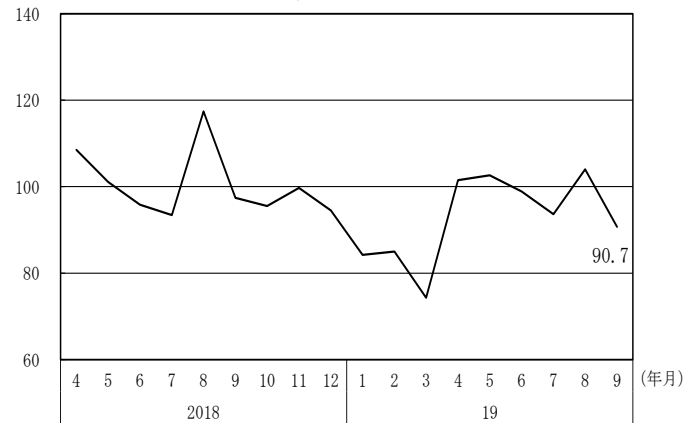
## 3 住宅建設 減少



(資料)国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、3,783戸で前年比25.7%減と2か月ぶりの減少となった(年度初来累計では同17.0%減少)。利用関係別にみると、持家(1,288戸、同3.0%減)、貸家(1,146戸、同37.3%減)、分譲戸建て(1,265戸、同6.8%減)、分譲マンション(65戸、同86.7%減)いずれも減少した。

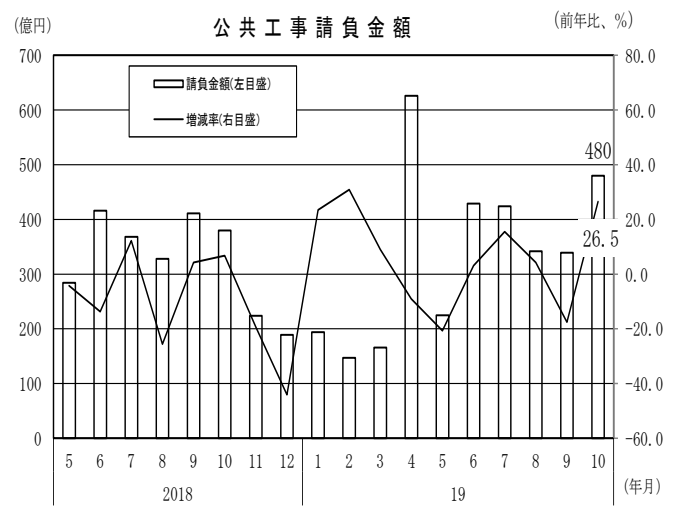
資本財出荷指数 (季節調整済) (2015年=100)



(資料)埼玉県

9月の資本財出荷指数(季節調整済)は、90.7で前月比12.8%の低下となった(2か月ぶりの低下)。

## 4 公共工事 横ばいの動き

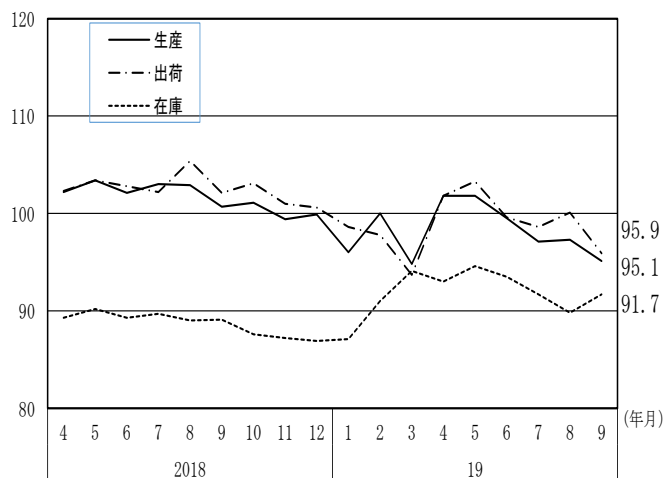


(資料)東日本建設業保証株式会社

10月の公共工事請負額は、480億円で前年比26.5%増となった(年度初来累計では同0.4%減少)。発注者別でみると、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村ともに増加した。

## 5 生産活動 弱含み

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2015年=100)



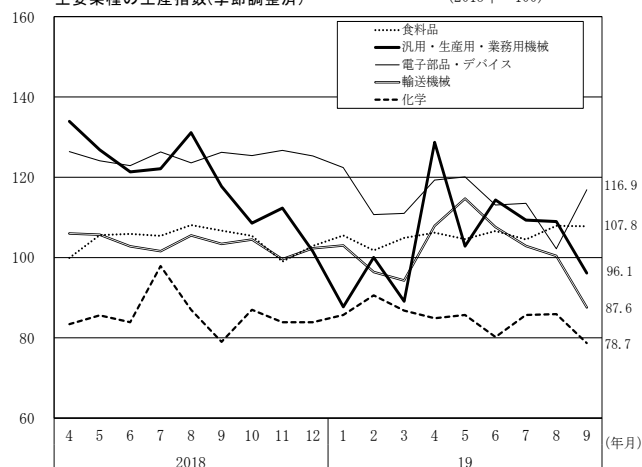
(資料)埼玉県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.1で前月比2.3%低下した(2か月ぶりの低下)。四半期ベース(7~9月期)では、96.5で前期比4.5%低下した(2期ぶりの低下)。前月比で電子部品・デバイス(混成集積回路)、電気機械(電力変換装置)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、輸送機械(自動車エンジン)、化学(医薬品)などが低下した。

出荷指数(同)は、95.9で同4.2%低下した(2か月ぶりの低下)。金属製品(アルミエクステリア)、プラスチック製品(プラスチック製容器)などが上昇したが、輸送機械(乗用車)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下した。

在庫指数(同)は、91.7で同2.1%上昇した(4か月ぶりの上昇)。化学(印刷インキ)、プラスチック製品(プラスチック製容器)などが低下したが、輸送機械(乗用車)、電子部品・デバイス(混成集積回路)などが上昇した。

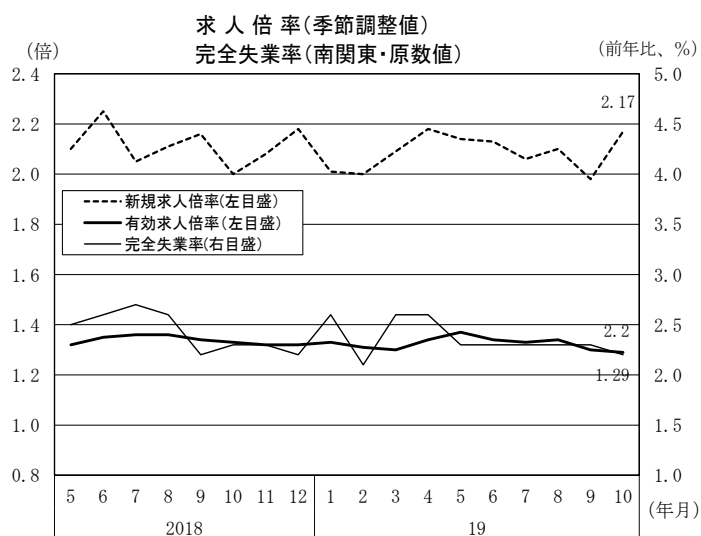
主要業種の生産指数(季節調整済) (2015年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、107.8で前月比0.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、96.1で同11.8%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は116.9で同14.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、87.6で同12.7%低下し、4か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、78.7で同8.4%低下し、3か月ぶりの低下となった。

## 6 雇用情勢 着実に改善



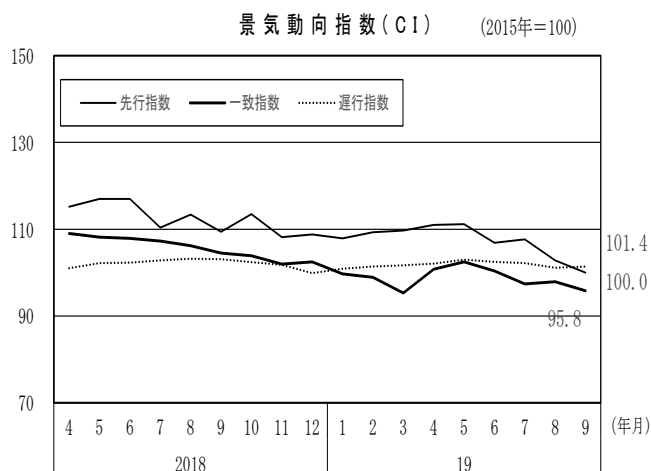
(資料)厚生労働省、総務省

10月の新規求人倍率(季節調整済)は2.17倍で前月比0.19ポイント上昇した。一方、有効求人倍率(同)は1.29倍で同0.01ポイント低下した。

完全失業率(南関東、原数値)は、前月比0.1ポイント低下の2.2%と低水準で推移している。

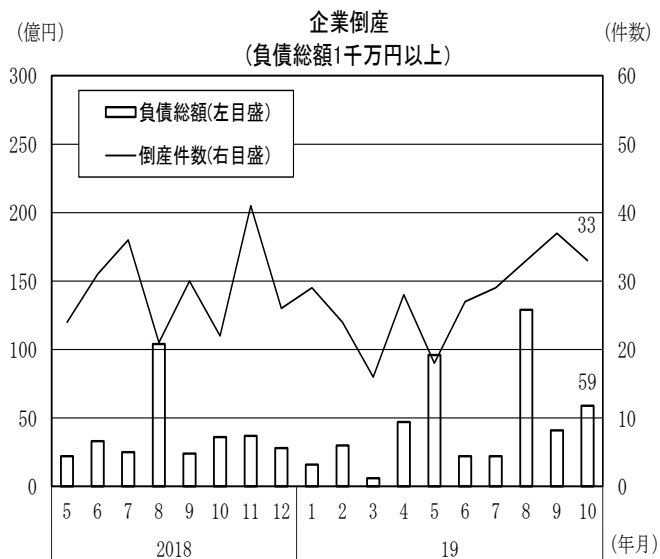
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 悪化を示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 件数、金額とも増加



(資料)帝国データバンク

10月の企業倒産件数は、33件で前年比11件の増加、負債総額も、59億円で同23億円の増加となった。

業種別にみると、製造業が8件で最も多く、次いで建設業と小売業がそれぞれ7件となっている。主因別では、販売不振が30件で最も多くなっている。

9月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、95.8で前月比2.1ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、100.0で同2.8ポイント低下し、2か月連続の低下となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、101.4で同0.3ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。